

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：坂月地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり							
		②健康や介護を通じた関係づくり							
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	○	・歩こう会、グラウンドゴルフ大会、アルバ演奏会、坂月小花植え等を開催する。	・コロナ感染防止をしつつ行事の実施に努める	・工夫しながら行事の実施に努める	・行事の実施	・行事の実施	
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・安心カードの配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	▶	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施	○	・セーフティーウォッチャー活動を行う。	・人員の確保	・人員の確保	・人員の確保	・人員の確保	
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・年2回の広報紙発行を行う。	・年2回以上の発行	・年2回以上の発行	・年2回以上の発行	・年2回以上の発行	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介	—	—	▶	
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				▶	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：貝塚地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	※○	・ふれあいの仕組みづくりとして、いきいきサロンやボランティア講座等を通じて交流・居場所づくりの推進	・4カ所、年5回実施	・実施	・実施	・実施
		②健康や介護を通じた関係づくり	○	・健康づくりのための健康セミナーや「100歳体操」(いきいきサロン時)の実施	・健康セミナー 年1回実施 ・いきいきサロン時体操実施	・実施	・実施	・実施
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	○	・お楽しみ会の実施(児童・未就学児対象)	・年2回実施	・実施についてのお知らせ方法検討・実施	・実施	・実施
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	※○	・芋煮会、敬老会、茶話会等の地域行事を通して、ふれあい交流活動の実施	・芋煮会実施 ・敬老会、茶話会を1地区で実施	・実施についてのお知らせ方法検討・実施	・実施	・実施
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘						
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・413地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	→
		⑦活動団体同士の連携・交流						
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施						
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり						
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・年1回広報紙の発行を実施	・年1回 貝塚地区部会社協だより 発行	・年1回 発行継続	・年1回 発行継続	・年1回 発行継続
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施						
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介			→
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				→

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：桜木地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	いきいきサロンの運営支援、子育てサロン「とけっこー」の運営	コロナ明けの直後であり、実態を把握する。	いきいきサロン7件、子育てサロン平均参加組数4組	いきいきサロン7件、子育てサロン平均参加組数4組	いきいきサロン8件、子育てサロン平均参加組数5組	
		②健康や介護を通じた関係づくり	○	グラウンドゴルフ大会、ポッチャ大会等、スポーツを通じた地域づくり	計画した事業を実施し、実態を把握する。	参加自治会数平均9自治会	参加自治会数平均10自治会	参加自治会数平均11自治会	
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・402地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(現加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	▶▶	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信							
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介			▶▶	
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				▶▶	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 小倉地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・「ふれあい・いきいきサロン」や「ふれあい食事サービス」の開催	①「いきいきサロン」の内容充実及び参加人数の増加 ②「食事サービス再開」の検討	①同左 ②食事サービス開催	①「いきいきサロン」と「子育てサロン」の同時開催などを計画 ②同左	①引続き異世代交流・内容充実を図る	
		②健康や介護を通じた関係づくり							
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	○	・「吹奏楽コンサート」や「介護講座」、「散歩クラブ」などの開催	左記行事の継続開催に加え、施設等へのボランティア参加の検討	左記行事の継続開催及び各福祉施設へのボランティア活動	同左	同左	
あなたもわたしも地域の一人、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	○ 共通	・民生委員の協力による「安心カード」の配布と緊急通報システムの利用促進	「安心カードの配付継続」	同左	同左	同左	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・地区部会活動のPRのため、広報誌の発行	年2回発行と内容充実	同左	同左	同左	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介				
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等					

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 白井地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり							
		②健康や介護を通じた関係づくり							
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	○	協力的な福祉施設が多い、地域特性を活かす。 ・ポッチャ体験会、タオルでボランティアなどの福祉施設とのふれあい交流活動の推進を図る。 ・福祉施設と地域で連携できる項目を検討する。	・敬老会、自治会でのポッチャ体験会の実施 ・タオルでボランティアの実施 ・福祉法人の協力を得て、車いす操作方法講習会の実施 ・福祉法人の車両で敬老会参加者の送迎	→	→	→	→
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となる人材の発掘	○	人材の発掘方法の検討を行う。 ・各自治会へ出向きイベントを開催し、協力員となりうる人材の発掘を行う。(自治会役員OB、協力員の充実)	・福祉活動推進員の活動内容等の周知を図る ・各自治会でのイベントに出向き人材の発掘を積極的に行う。	・福祉活動推進員の増員(1名~2名)	→	→	
		⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・406地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(現加入数把握)	→	→	
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑦活動団体同士の連携・交流	○	・構成4団体との情報交換を積極的に行い、活動団体同士の連携、交流を推進する。 ・地域ケア会議の開催など地域の困り事解決に取り組む。 ・活動拠点の確保を図る。(資料の保管、打合せ場所の確保)	・構成4団体との意見交換会の開催方法等について検討する ・地域ケア会議などにより、地域の困りごとの抽出を行う ・資料の保管場所に保管方法について検討する	・構成4団体との意見交換会を実施し、連携の推進を図る ・資料の保管場所に選定した施設と保管方法について協議し保管場所を確保する	→	→	
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり	○	・白井地区における災害の脅威と対応について、地区の団体で対応する項目を検討し、連絡体制を確立する。 ・災害時の社会的弱者のためのボランティア活動の在り方について検討し、その結果を災害時のボランティア活動に取り入れる。	・災害時に地区の団体で対応すべき内容を協議するための検討会開催の検討 ・災害時のボランティア活動のあり方について協議	・災害時に地区団体で対応すべき内容を協議する検討会を開催し、連絡体制の確立を図る →	→	→	
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信							
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	→	→	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介 →	→	→	→	
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				→	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 更科地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・現在活動中の3つのふれあいサロンの実施を継続する	3つのふれあいサロンの活動を継続する	同左	同左	同左	
		②健康や介護を通じた関係づくり							
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	○	・交流活動実施に向け、検討していく	敬老会・凧揚げ大会の実施	同左	同左	同左	
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・407地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)		
		⑦活動団体同士の連携・交流		・地域団体との連携の強化(育成委員会と地区部会)	「うつしの祭」と「敬老会」の融合を検討する	「うつしの祭」と「敬老会」の同時開催	同左	同左	
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信		・地区部会だよりの充実	年2回発行	同左	同左	同左	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 御成台、千城台西・北地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取り組み項目	重点	取り組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・いきいきサロン、子育てサロンなどを開催し、地域住民の交流の場をつくる。	・いきいきサロン(年20回超)子育てサロン(年6回)開催し、住民同士の交流を図る。	・できるだけR5年度の活動を継続していく。また、ゲーム、スポーツ、ヨガ等を組み入れ心身を活性化する。	・参加者の範囲を拡大する。(若い人とのコラボを考えていく)	・同左	
		②健康や介護を通じた関係づくり	○	・健康体操、ポールウォーキング、ポッチャなどを開催し、健康や介護予防に資する。	・いきいきシニア(年12回)ポールウォーキング(年15回)健康体操(年3回)その他ポッチャ(年1回)など。	・できるだけR5年度の活動を継続していく。	・参加者の範囲を拡大する。(障がい者と共にスポーツを楽しむ)	・同左	
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の一人、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・408地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	→	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取り組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・社協行事の紹介や健康コラムなどを広報誌にて情報発信する。	・年5回発行継続。 ・社協行事の紹介のほか、健康づくり、介護予防のための情報を発信する。	・できるだけR5年度の活動を継続していく。(年5回は十分な発行回数と考える)	・同左	・同左	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介			→	
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				→	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：千城台東南・金親地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・ふれあいサロン憩、ふれあいサロン南を実施する。 ・こども食堂「縁」に対しての手伝いを実施する。	・ふれあいサロン憩、南を各月1回実施 継続中 ・こども食堂「縁」で週2回手伝い実施 継続中	・ふれあいサロン憩、南を各月1回実施 こども食堂「縁」で週2回手伝い実施	同左	同左
		②健康や介護を通じた関係づくり						
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	○	・60歳以上の方を対象として「グラウンドゴルフ大会」、「バス研修旅行」を実施し交流の機会を作る。	・「グランドゴルフ」中止 ・「ポッチャ」を開催済み ・R5年度2月「バス研修旅行」を実施予定	・「ポッチャ」の開催 ・「バス旅行」を実施し、交流の機会を作る	同左	同左
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施	○	・地区内の小学生を対象とした「冬休みなかよし教室」を開催する。 ・東小学校、みらい小学校が開催する「昔あそび」を支援する。	・地区内小学生を対象とした冬休みなかよし教室を実施済み ・東・みらい小で昔遊びを実施済み	・地区内小学生を対象とした冬休みなかよし教室を実施	同左	同左
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘						
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	○	・要支援者への生活支援(ゴミ出し、買い物、外出支援)の活動に取り組む。 ・将来を見据えて有償でのゴミ出し支援事業の検討を継続する。	・買物支援(和陽園)事業開始。 ・ゴミ代行事業開始。	・買物支援の実施 ・ゴミ代行事業実施	同左	同左
		⑦活動団体同士の連携・交流	○	・409地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	
			○	・御成台、千城台西・北地区部会との交流会を実施し、活動内容の情報交換を実施する。	・御成台、千城台西・北地区部会との合同で「講演会」を2月に予定	・御成台、千城台西・北地区部会との交流で、活動内容の情報交換を実施	同左	同左
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施						
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり						
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・広報紙の発行を通じ地域福祉の情報を地域住民に発信する。 ・ホームページの運営で情報媒体の多様化を図り、より情報量を増やす。	・広報紙「社協だより」を年3回発行 ・ホームページの活用で、情報等の多様化、拡大を実施中	・広報紙「社協だより」を年3回発行 ・ホームページの内容を充実し、情報発信を拡大する	同左	同左
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施						
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等			

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 26地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの仕 組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発 掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘						
	(4)地域で支えあう仕組 みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組 みづくり	共通	・410地区民児協による「安心カード」の配付と緊 急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確 認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検 討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び 拡大(加入推移把握)	▶ ▶
		⑦活動団体同士の連携・交流						
備えあれば憂いなし、安全 と安心の仕組みをつくりま しょう	(5)継続的な防犯活動の取 組みを進める	⑧防犯活動の実施	○	・地域の安全のため、防犯防災パトロールを実施す る。(各自治会で定期的に防犯パトロールを行う。)	8自治会で毎日実施			▶
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり						
必要な情報が行き渡り、気 軽に相談し合える仕組 みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や 情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信						
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会 のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の 実施。	・ZOOM、各委員会での体 験。	・地区部会内、その他団体間 での運用。
世代を超えて、ともに学び 合い参加できる仕組 みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心 を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施						
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等 の紹介			▶ ▶

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：若松地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・町内自治会単位でのサロンへ開催への協力を行う。	・南部自治会でのサロン、地区部会主催のサロン実施」 ・ポッチャ大会開催	・新規1自治会実施		→	
		②健康や介護を通じた関係づくり	○	・あんしんケアセンターの講演を聞く。	・サロン開催会場での実施	・サロン開催時に検討		→	
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出	○	・ふれあい散歩クラブを立ち上げる。	・立上げを検討(担当者の都合で立上げできず)	・立上げの検討			→
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・411地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	→	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信		地区部会だよりの充実	・年2回発行	・年1回発行予定		→	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	○ 共通	・若松高校と協力し、子育てサロンを開催することで、生徒たちと一緒に福祉などについて考える機会を持ってもらう。	・ボランティア体験依頼	若松高校と交渉		→	
				・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介			→	
				・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				→	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：加曾利地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり							
		②健康や介護を通じた関係づくり							
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の一員、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘	○	「助け合いの会」の今後の担い手をどうするのか討議し、「手当て」を含め、現状を聞いてもらい持参していく。	・担い手獲得に伴う戦略会議開催の検討	・戦略会議による具体的な担い手確保の手法決定	・実施	・実施	
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	共通	・民生委員の協力による「安心カード」の配布と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	→	
		⑦活動団体同士の連携・交流							
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信							
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介			→	
					・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等			→	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：都賀地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	・子育てサロンの実施継続 ・いきいきサロンの増設	・子育てサロン月例開催 ・4カ所で健康・喫茶サロン開催	・子育てサロン月例開催 ・会場増設の可能性検討 運営課題の検討・充実	・子育てサロン月例開催 ・新規会場の可能性検討 (増設の場合、開催協力)	・子育てサロン月例開催 ・運営内容の改善による活性化、増設活動の継続	
		②健康や介護を通じた関係づくり	○	・フレイル予防など健康維持の講習会等の開催	・健康体操月例実施(2カ所) ・フレイル対策の紙面啓発	・会場増設の検討 ・フレイル対策の紙面啓発 ・健康・介護の講演会開催			
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの仕 組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘							
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	○	・一人暮らしや要支援者の見守り・安否確認等の対応の推進	・見守り対策の検討	・一人暮らし見守りの検討 ・民生委員への協力・連携 ・安否活動の協力体制検討	・一人暮らし見守りの対策 ・民生委員への協力・連携 ・住民参加型見守りの啓発	・見守りネットの普遍化 ・民生委員への協力・連携 ・住民参加型見守りの啓発	
		⑦活動団体同士の連携・交流	○	・自治会、民生委員等との連携による組織強化	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の具体化検討	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の具体化検討	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の具現化	・自治会と民生委員の協力関係の理解共有 ・協力の在り方の定着	
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	・「みんな仲間」の発行 ・相談ネットの普遍化	・みんな仲間を隔月発行	・みんな仲間を隔月発行 ・有効な相談ネットの検討	・みんな仲間を隔月発行 ・相談ネットの啓発実施	・みんな仲間を隔月発行 ・有効な相談ネット具現化	
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施	○	・各種出前講座、研修会の開催	・出前講座の実施検討	・出前講座の3回実施 ・みんな仲間で福祉の心に関する啓発(2回)	・出前講座の3回実施 ・みんな仲間で地域の相互扶助を啓発(3回)	・講座・研修会開催(4回) ・みんな仲間で住民参加型福祉活動を啓発(3回)	
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等				

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名：結・みつわ台地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	1.いきいきサロンの定期的な開催を目指す。 2.子育てサロンの定期的な開催を目指す。 3.ふれ合い散歩クラブの新規実施を目指す。	・開催日程の告知、内容の再興に努める			→	
		②健康や介護を通じた関係づくり	※○	1.「福祉のつどい」を年1回開催し、参加者が「参加し交流する」ことにより最低何か一つ習得して帰れるよう内容の充実を図る。また、開催数については増加に向け検討する。	・地域の枠を超えてより広域で連携協力する検討			→	
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	③公園やサークル活動を利用した交流機会の創出							
		④福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施							
あなたもわたしも地域の一人、身近な支えあいの仕組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘	○	1.各地域団体との積極的交流の中から、人材の発掘につなげる。	・各地域団体と交流 ・人材発掘に努力する。			→	
	(4)地域で支えあう仕組みをつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組みづくり	○	1.地域福祉ニーズ調査を継続しながら、見守り活動や地域支え合い活動を検討・実施する町内自治会等を支援していく。	・各地域の活動事例聴取及び実施検討	・活動検討 ・情報交換会の実施	・活動検討	→	
			共通	・404、412地区民児協による「安心カード」の配付と緊急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び拡大(加入推移把握)	→	
		⑦活動団体同士の連携・交流	※○	1.町内自治会・スポーツ振興会・青少年育成委員会・地域団体との連携を強化する。	・関係団体との意見交換会 ・階差の件と(実現性検討)	意見交換会実施		→	
備えあれば憂いなし、安全と安心の仕組みをつくりましょう	(5)継続的な防犯活動の取組みを進める	⑧防犯活動の実施							
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり							
必要な情報が行き渡り、気軽に相談し合える仕組みをつくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信							
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	-	・推進協、地区部会連絡会のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の実施。	・ZOOM、各委員会での体験。	・地区部会内、その他団体間での運用。	
世代を超えて、ともに学び合い参加できる仕組みをつくりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施							
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等の紹介 ・好事例の自地区での実現に向けた検討、活動調査、意見交換等			→	

【第5期計画(年次計画表)】

エリア名: 千城小地区部会

基本方針	施策の方向性	具体的な取組み項目	重点	取組み内容	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
誰もが顔見知り、交流とふれあいの仕組みをつくりましょう	(1)近隣同士の交流・居場所をつくる	①あいさつ運動やサロンを活用したふれあい、機会づくり	○	1. 地域ぐるみで声掛けや挨拶運動の奨励	・全自治会のうち3自治会で実施	・新規2自治会 計5自治会実施	・新規3自治会実施	・全8自治会実施
				2. ふれあい・いきいきサロン1ヶ所開設 →4ヶ所開設を目指す	・3会場で実施	・新規1箇所 (計4カ所)	・継続的な安定を図る	・継続的な安定を図る
	(2)エリア、世代やハンデを超えて地域交流の場・機会をつくる	②健康や介護を通じた関係づくり	○	1. シニア体操(介護予防体操)クラブ1ヶ所実施 ※他地域に対し取り組みの奨励	・既存1箇所継続 (親睦会)	・実施エリアの検討 (実施自治会等)	・新規1カ所 (計2カ所)	・2カ所の継続的な安定を図る
				③公園やサークル活動を利用した交流 機会の創出	○	1. 公園を活用し、高齢者向けスポーツの奨励	—	・公園を利用し、グラウンド ゴルフ1カ所開設
あなたもわたしも地域の 一員、身近な支えあいの仕 組みをつくりましょう 【地域での担い手発掘】	(3)地域活動の担い手を発 掘し活用する	⑤活動の中核となれる人材の発掘						
	(4)地域で支えあう仕組み をつくる	⑥見守り活動・助けあい活動の仕組み づくり	共通	・410地区民児協による「安心カード」の配付と緊 急通報システムの利用促進	・配布状況の確認 ・通報システム利用状況の確認	・カード更新及び配布 ・緊急通報システム拡大の検 討(加入数把握)	・緊急通報システム周知及び 拡大(加入推移把握)	→
		⑦活動団体同士の連携・交流	○	1. スポーツ振興会・青少年育成委員会・消防団等、 地域団体との連携の強化	・関係団体との意見交換会 開催の検討	・意見交換会の実施	・意見交換会の実施	・意見交換会の実施
備えあれば憂いなし、安全 と安心の仕組みをつくりま しょう	(5)継続的な防犯活動の取 組みを進める	⑧防犯活動の実施						
	(6)身近な災害に備える	⑨災害に備えた準備・体制づくり						
必要な情報が行き渡り、気 軽に相談し合える仕組みを つくりましょう	(7)地域福祉情報の発信や 情報を共有する	⑩地域福祉に関する情報の発信	○	1. 地区部会だよりの充実	・年2回発行 ・次年度増回検討	・特集号の1回発行を目指 し、充実を図る	・年3回発行	・年3回発行
		⑪オンライン活用による情報交流	共通	・オンライン会議の普及・啓発	—	・推進協、地区部会連絡会 のハイブリッド開催。 ・有志によるZOOM体験の 実施。	・ZOOM、各委員会での体 験。	・地区部会内、その他団体間 での運用。
世代を超えて、ともに学び 合い参加できる仕組みをつ くりましょう 【将来的な人材育成】	(8)家庭や地域で福祉の心 を育む	⑫福祉のこころを育む活動の実施						
	(9)福祉を学び実践する	⑬福祉を学び実践する	共通	・各地区部会エリアの連携(好事例等の情報交換)	・推進協開催時の好事例等 の紹介	→		→
				・好事例の自地区での実現 に向けた検討、活動調査、 意見交換等				→